

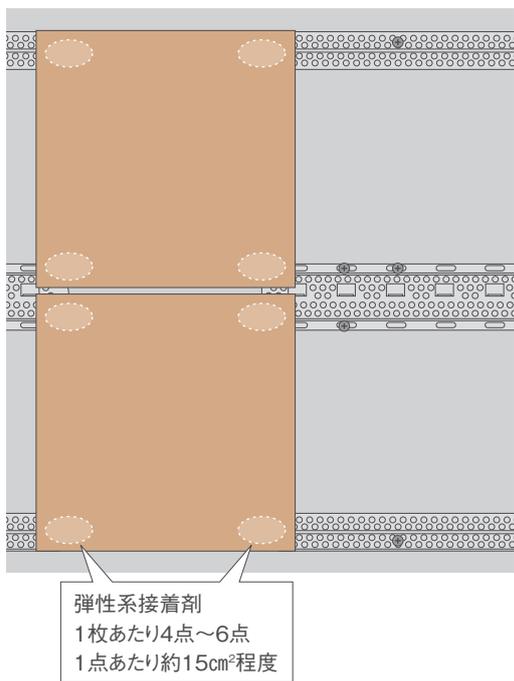
## ビームホール工法 企画サイズ・大形石材・タイル用

企画サイズ専用の基盤です。300角・400角・600角などの石材・タイルに対応可能です。現在、床用として使用されているタイルを壁面に貼ることが出来るため、デザインの幅も広がります。

### ビームホールの特長

- 壁に貼ることの出来なかった床用タイルで、玄関ポーチから壁へと統一されたデザインに。
- 重厚な石でアクセントなど、今までにないデザインに対応可能。
- 新築工事での高効率化、建築主様の満足度が大幅にアップ。

基盤形状図

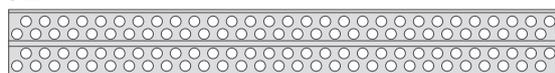


基盤重量:1.2kg/本、12kg/セット(10枚入)

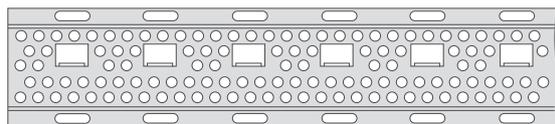
- 材質 ステンレス製品(SUS304)  
メッキ製品(ザム)

※ザム:耐食性が、亜鉛メッキ製品に比べ10〜20倍、亜鉛-5%  
アルミメッキ製品に比べ5〜8倍優れています。

- ビームホールサイド 大:幅55×長さ2000×厚さ1.2×つめ15  
小:幅55×長さ2000×厚さ1.2×つめ13

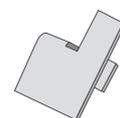
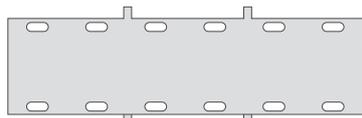


- ビームホールセンター 幅80×長さ2000×厚さ1.0×つめ6



### オプション

- ビームホールカバー 下地材(サイディングやフレキ板等)を使用しない場合、カバーを使用する。
- ビームピン (SUS304)



### ビームホール施工手順

注:材質上、切断面及び突起部分には充分ご注意ください。



①ビームホール基盤を構造体と緊結  
下地材・柱や間柱にビームホールをビスやアンカーなどでしっかり取り付けます。1平方メートルあたり10本以上使用してください。その後接着剤を塗布します。



②接着剤で外装材を固定  
タイルにも接着剤を点付けし、ビームホールを基盤のつめ部に乗せながら、もみ込むように張り付けます。



③目地加工及び仕上げ  
フラット面のタイルの場合、目地材をゴム鏝を使って塗り付け、スポンジで余分な目地材を取り除き目地押さえを行います。みがき石材の場合コーキング等で目地詰めします。